

令和6年度後期 四国大学開放授業

四国大学開放授業は、地域の皆様や高校生に本学の授業の一部を開放することにより、本学における教育活動のPRと地域教育力の向上に資することを目的としています。後期に開放する授業は次頁の表のとおりです。

* 受講を希望される方は、「四国大学開放授業(後期)申込書(ハガキ)」もしくは、[四国大学HP](#) > [地域・教育機関の方](#) > [四国大学開放授業](#) > [受講申込フォーム](#) または以下のQRコードから、8月30日(金)までにお申込みください。



* ハガキの場合は、8月30日(金)【消印有効】までに郵送(コピーしてFAX可)又は直接窓口までお申込みください。なお、令和7年度前期以降は、申込書(ハガキ)を廃止し、オンライン申込みのみとさせていただきますのでご了承ください。

- * 希望者が定員より多い場合は、先着順とさせていただきます。
- * 受講が決定された方には、ご案内等をメールにて9月4日(水)頃に送付する予定です。お申込みの際はメールアドレスを必ずご記入ください。また、開放授業受講生への連絡等は基本的にmanaba(オンライン学習支援システム)を利用しますので、パソコンやスマートフォンが必要です。
- * 開放授業受講生には、成績評価(単位認定)は行いません。
- * 授業の曜日・時限(時間)及び受講教室は、都合により変更する場合がありますので、予めご了承ください。

令和6年度 四国大学大学教育開放授業に係る学部等指定授業科目一覧

【後期】 14科目

学部等	学科・専攻	学年	授業科目	担当教員	受入可能 受講生数
文学部	日本文学科	4	現代文化と文学	須藤 茂樹 他8名	6
文学部	国際文化学科	1	English for Communication II	ラックストン ロバート	6
経営情報学部	経営情報学科	2	金融論	臼井 正樹	5
経営情報学部	メディア情報学科	1	情報科学概論II	尾崎 圭司	5
経営情報学部	メディア情報学科	1	映像メディア論	山本 耕司	5
看護学部	看護学科	2	母性保健論	西田 絵美	5
看護学部	看護学科	2	家族看護論	鈴木 智子 他	5
短期大学部	ビジネス・ コミュニケーション科	2	財務会計	伊賀 裕	5
短期大学部	音楽科	2	ポピュラー音楽の歴史と民族音楽	小田原 令幸	3
全学共通 教育センター	全学共通 教育センター	2	キャリア英語 (TOEIC)	ディッキー ソフィア ハナ	5
全学共通 教育センター	全学共通 教育センター	2	日本の歴史と思想	吉岡 直人	5
全学共通 教育センター	全学共通 教育センター	1	東洋の歴史と思想	太田 剛 他2名	5
全学共通 教育センター	全学共通 教育センター	1	地域未来探求	高橋 啓子 他9名	5
全学共通 教育センター	全学共通 教育センター	1	物理学基礎	奥村 英樹	5

1	科目名	現代文化と文学 (文学部 日本文学科)		
	担当講師	須藤 茂樹 他8名		
	開講期間・回数	9月25日～2025年1月24日・15回	受講定員	6名
	曜日・時限	月曜日 1限 (9:00～10:30)	受講教室	F201
	使用テキスト	なし。プリントなどを配布します。		
	概略	我々が生きている現代はそれまでの歴史の長い蓄積の上に成立しており、決して過去と切り離すことはできない。その現代社会のあり方について、言語・文学・歴史・文化・思想といった多方面から分野を越えて考察していく。それにより視野を広げ、自由な視点から物事を見る姿勢を養う。具体的には、漫画、アニメ、ゲーム、特撮、映画、落語など様々なコンテンツを事例に文学と現代文化との深い関係性を読み解いていく。		
	履修について	諸連絡などにマナビコース・ポータルなどを使用する場合がありますので、パソコンやスマートフォンが必要です。		

2	科目名	English for Communication II (文学部 国際文化学科)		
	担当講師	ラックストン ロバート		
	開講期間・回数	9月25日～2025年1月24日・15回	受講定員	6名
	曜日・時限	水曜日 3限 (13:00～14:30)	受講教室	L202
	使用テキスト	無し		
	概略	英語で行われるスピーキングのクラスです。トピックは、家族の話、友達との計画、旅行の話などです。2回のスピーキングテストと2回の筆記テストがあります。		
	履修について			

3	科目名	金融論 (経営情報学部 経営情報学科)		
	担当講師	臼井 正樹		
	開講期間・回数	9月25日～2025年1月24日・15回	受講定員	5名
	曜日・時限	木曜日 4限 (14:40～16:10)	受講教室	A306
	使用テキスト	テキストは特に使用せず、必要に応じて、プリントを配布します。		
	概略	金融とは「経済の中を流れる血液のようなもので、経済活動の継続・成長に不可欠な機能を果たすもの」と説明されることが一般的です。しかし、金融はこうしたプラスの側面を持つ反面、誤使用すると経済を壊すという「負の効果」をもたらすという側面も持っています。一例としてあげれば、バブル崩壊と日本の金融危機、あるいはリーマンショックと世界同時不況などはその典型例です。いずれも、金融機能が暴走した結果、経済に大きな傷跡を残した事例ともいえます。金融は、使い方次第で“毒”にも“薬”にもなる両刃の剣なのです。この講義は、上記のような金融機能の表と裏、あるいは光と影を具体例を用いて体系的に理解することを目指します。		
	履修について	講義用のスライドは、講義終了後に、マナビコースに掲載します。教室変更等の諸連絡もマナビコースを利用して行います。		

4	科目名	情報科学概論Ⅱ (経営情報学部 メディア情報学科)		
	担当講師	尾崎 圭司		
	開講期間・回数	9月25日～2025年1月24日・15回	受講定員	5名
	曜日・時限	月曜日 2限 (10:40～12:10)	受講教室	R101
	使用テキスト	山口和紀 編・東京大学出版会「情報 第2版」1,900円(税別)		
	概略	<p>多様な側面を持つ“情報”について、総合的に学習します。特に、情報の表現・伝達と通信・データの扱いについて学びます。以下のことができるようになることが目標です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 符号化、ハミング距離、誤り検出と訂正の意味が説明できる。文字列をASCII符号化できる。情報量の計算ができる。 2. 各プロトコル階層の名称と役割を説明できる。 3. モデル化の意味を説明できる。代表的なデータモデルの役割と性質を説明できる。 		
	履修について	連絡・課題の提出等にポータルとマナバを使うので、PCとスマホを準備してください。第14回と第15回は一般学生のための期末テストと振り返りの回なので、開放授業の方は出席する必要はありません。		

5	科目名	映像メディア論 (経営情報学部 メディア情報学科)		
	担当講師	山本 耕司		
	開講期間・回数	9月25日～2025年1月24日・15回	受講定員	5名
	曜日・時限	火曜日 3限 (13:00～14:30)	受講教室	U151
	使用テキスト	使用しない。 毎回、授業概要のわかるレジュメを提示するが、重要と思うことはノートにとって各自でまとめること。		
	概略	<p>パソコンやデジタルビデオカメラの普及にともなって、個人でも高品質な映像表現ができるようになってきた。また、家庭や公共の場にブロードバンド環境が整う中、動画作品がインターネットを介して多数配信されている。このように、ネット配信が台頭することで、テレビ放送を取り巻く状況は大きく変化し、放送とネットが融合する時代を迎えている。本授業では、放送の現状を把握し、ネット配信の可能性と課題を考える。その上で、コンテンツの重要性を意識し、映像表現技術とその記憶・伝達方式を理解して、映像制作における入門的要素について学ぶ。本科目は、映像コンテンツの制作とその流通ビジネスにおける入門科目である。</p>		
	履修について	ネットワーク上に講義のレジュメや資料を掲載したり、アンケートを実施したりすることがあります。そのため、自宅等にパソコンを所有し、ネットワークを介して資料のダウンロードやアンケートの回答等ができることが履修の条件です。ただし、講義の中でパソコンを使用することはありませんので、デスクトップパソコンでも構いません。		

6	科目名	母性保健論 (看護学部 看護学科)		
	担当講師	西田 絵美		
	開講期間・回数	9月25日～11月19日・8回	受講定員	5名
	曜日・時限	火曜日 3限 (13:00～14:30)	受講教室	R101
	使用テキスト	森恵美他「系統看護学講座専門分野母性看護学〔1〕母性看護学概論」第14版、医学書院、2021年		
	概略	<p>母性を取り巻く社会の現状を正しく把握したうえで、母性に関する健康課題を自ら見出すことのできる基礎的能力を修得することをねらいとした授業です。女性や家族の一生と関連づけて、看護職者の役割についての考察を深めていきましょう。</p>		
	履修について			

7	科目名	家族看護論 (看護学部 看護学科)		
	担当講師	鈴木 智子 他		
	開講期間・回数	11月27日 ~ 2025年1月24日 ・ 8回	受講定員	5名
	曜日・時限	水曜日 3限 (13:00~14:30)	受講教室	R102
	使用テキスト	適宜配布します。		
	概略	<p>家族看護論は、「家族」を一つの単位として看護の対象者と捉え、「家族」の健康の維持・増進、様々な疾患や障がい家族員が経験した際の支援のあり方を発達段階に沿って、各専門領域の担当者によるオムニバス形式で学修をすすめます。それらを通して、看護の対象者は患者だけでなく家族も含めて幅広く捉えることの重要性を理解し、ケアの捉え方の視野を拡大して、今後の学習へと発展させるための基盤とします。マナバコースを使用して課題の提出を行い授業の振り返りを行います。</p>		
	履修について	PC、スマートフォンを活用します。		

8	科目名	財務会計 (短期大学部 ビジネス・コミュニケーション科)		
	担当講師	伊賀 裕		
	開講期間・回数	9月25日 ~ 2025年1月24日 ・ 15回	受講定員	5名
	曜日・時限	月曜日 2限 (10:40~12:10)	受講教室	T309
	使用テキスト	<p>桑原 知之著「サクッとわかる日商2級商業簿記テキスト【第2版】」(ネットスクール出版、2022) 定価:1,540円(税込) 桑原 知之著「サクッとわかる日商2級商業簿記・工業簿記トレーニング」(ネットスクール出版、2022) 定価:1,760円(税込)</p>		
	概略	<p>簿記会計は「企業の言語」と言われます。簿記会計を理解することで、企業・経営についての理解が深まります。本講義では、簿記の初学者が簿記の基礎を理解し、その後中級レベルの簿記へ進もうとするための内容となっています。中級レベルの簿記は中規模株式会社の簿記を前提としますので、日商簿記検定2級(商業簿記)の基本的な部分を学修します。</p>		
	履修について			

9	科目名	ポピュラー音楽の歴史と民族音楽 (短期大学部 音楽科)		
	担当講師	小田原 令幸		
	開講期間・回数	9月25日 ~ 2025年1月24日 ・ 15回	受講定員	3名
	曜日・時限	木曜日 3限 (13:00~14:30)	受講教室	D216
	使用テキスト	教科書は使用しない。		
	概略	<p>前半~中盤はポピュラー音楽(主にロックミュージック)の歴史について、映像資料を用いて学びます。時代ごと・国ごとの流行や代表的なアーティストについて、音楽的な特徴だけでなく、文化・社会情勢・テクノロジーなどの視点も交えつつ紹介します。後半は世界の民族音楽について学びます。歴史や文化背景だけでなく、音楽理論や器楽的な特徴にも触れつつ解説します。</p>		
	履修について	授業に関する連絡、毎回の授業メモの提出にマナバコースを使用します。スマートフォンと筆記用具が必要です。		

10	科目名	キャリア英語 (TOEIC) (全学共通教育センター)		
	担当講師	ディッキー ソフィア ハナ		
	開講期間・回数	9月25日～2025年1月24日・15回	受講定員	5名
	曜日・時限	金曜日 4限 (14:40～16:10)	受講教室	P305
	使用テキスト	使用しません。		
	概略	本授業では、頻出テーマに沿ってTOEIC500点以上のスコアを目指した実践演習を行います。聴解力と読解力を中心に向上させ、様々な場面において活用できる英語力を身につけたい方を歓迎します。		
	履修について	学習管理システムmanabaを使用します。PCあるいはスマートフォンをご持参ください。		

11	科目名	日本の歴史と思想 (全学共通教育センター)		
	担当講師	吉岡 直人		
	開講期間・回数	9月25日～2025年1月24日・15回	受講定員	5名
	曜日・時限	金曜日 2限 (10:40～12:10)	受講教室	A303
	使用テキスト	教科書は特に使用しません。テーマごとにプリントを配布します。		
	概略	<p>高校まで学んできた日本史では、教科書に書かれた内容を覚えることが中心です。覚えるのが苦手な日本史を敬遠している人もいるかもしれません。あるいは過去のことを覚えても今の生活に関係ないと漠然と考えている人もいるかもしれません。そう結論を急がず、教科書がいったいどのような根拠に基づいて書かれているかを少し考えてみましょう。そうすれば、歴史の見方も少し変わってきます。また高校の歴史では、政治史や文化史は別々に学習していたと思いますが、政治史と文化史を一体的に捉えることで歴史の面白さも見えてきます。</p> <p>この講義では、高校までの覚える日本史から一歩進んで、考える日本史を目指します。過去の出来事を調べ、その変遷をみるという方法がどういうものなのかを示していきます。</p>		
	履修について	受講にあたって、PCなど特別な準備は必要ありません。		

12	科目名	東洋の歴史と思想 (全学共通教育センター)		
	担当講師	太田 剛 他2名		
	開講期間・回数	9月25日～2025年1月24日・15回	受講定員	5名
	曜日・時限	木曜日 1限 (9:00～10:30)	受講教室	A306
	使用テキスト	授業時にプリントを配布する。		
	概略	<p>日本が有史以来最も大きな影響を受けてきた隣接地域は、中国と朝鮮半島である。本講義は、主として日本とこれらの地域との関係史と思想的影響を学ぶ。この地域は経済力と知力に優れ、今後の世界全体にとっても極めて大きな存在である。また隣国との関係を学ぶことは、日本人自身の内面の実態を知るとともに、インバウンドとしても重要な両地域の人々の基本的な考え方を知り、今後の付き合い方を知ることにつながる。授業はこの分野の専門家である3名の講師によって、オムニバス形式で、主としてパワーポイントによって実施する。(オリエンテーション1時間、朝鮮半島5時間、中国古代5時間、中国近代4時間) 授業の毎時間の感想文によって受講生の理解度ををはかる。</p>		
	履修について	マナバコースでの感想記入を基本にします。		

科目名	地域未来探求 (全学共通教育センター)		
担当講師	高橋 啓子 他9名		
開講期間・回数	9月25日 ~ 2025年1月24日	15回	受講定員 5名
曜日・時限	金曜日 2限 (10:40~12:10)		受講教室 U154
使用テキスト	教科書は使用せず、授業ごとに資料を配布。		
概略	地域未来探求は“豊かな生活を送るために”をテーマに、食生活、医療、子育て、高齢者対策、芸術・健康作りのためのスポーツの5分野に関わる徳島県の現状を学びます。それぞれの専門的立場から10名の先生方が担当するオムニバス授業です。授業はmanaba courseやresponを利用したり、ディスカッションを行うなどアクティブラーニングを取り入れて実施します。到達目標は「地域における私たちの暮らしを取り巻く環境を理解することができる」「学習内容を理解し、生活に活用することができる」とともに、未来の地域づくりに参画し、その魅力を語る事ができます。経験豊富な先生方から徳島の現状を学び、課題を探りながら、課題解決能力を培い、輝かしい未来生活を創造しましょう。		
履修について	manabacourseを使用して授業を実施します。スマートフォンまたはタブレット、パソコン等を準備してください。授業に使用する資料は前日までに、manabacourseに提示されますので、準備しておいてください。		

科目名	物理学基礎 (全学共通教育センター)		
担当講師	奥村 英樹		
開講期間・回数	9月25日 ~ 2025年1月24日	15回	受講定員 5名
曜日・時限	金曜日 3限 (13:00~14:30)		受講教室 A306
使用テキスト	必要に応じてプリントを配布します。		
概略	高校で物理を学んでいないことを前提に、説明します。 「物理」で大切なのは現象を「イメージ」することです。 例えば「速さ」を比べるには、あらかじめ距離を決めてかかった時間を比べる(100m走など)か、時間を決めて移動した距離で比べる(鬼ごっこで鬼が10数える間に逃げた距離など)しかありません。そして物理では、1秒や1時間などと時間を決めて、その間に移動した距離しか比べません。このイメージを持つことができれば、何を何で割れば良いか思い出しやすくなります。 この授業では単なる公式の説明にせず、「物理ではなぜそのように考えるか」を解説しながら進めていく予定です。		
履修について	授業では、資料をマナバコースで配布し、出欠確認にはレスポンスを使います。そのため、スマホまたはタブレットPCをお持ち下さい。		

授業内容についての問合せ先

四国大学 教育・学生支援部 教育支援課
〒771-1192 徳島市応神町古川
kyoumu@shikoku-u.ac.jp

受講申込みについての問合せ先

四国大学 生涯学習センター 事務室
〒770-0831 徳島市寺島本町西二丁目35-8
四国大学交流プラザ内
TEL 088-602-4858(直通)
FAX 088-602-4861

